



NIIGATA CITY 8 COLORS

新潟市 8区のイメージカラー

平成19年4月、新潟市は本州日本海側初の政令指定都市となり、8つの個性あふれる行政区が誕生しました。

各区にはそれぞれ、他にはない魅力や特徴があります。区の一体感醸成と、各区の個性を誰にでも親しみやすい「色」で表現し、市内外にアピールするため、「区のイメージカラー」を作成しました。

色の選定にあたっては、区民アンケートでいただいた6,399通のご意見や、新潟市都市景観アドバイザーからのアドバイスを参考とし、市民の代表と各区長で構成する「区のイメージカラー調整会議」において決定しました。この「新潟市 8区のイメージカラー コンセプト&カラーガイド」は、「区のイメージカラー」を正しく使用する際の最低限のルールをまとめたものです。

多くの市民が関わり作成した「区のイメージカラー」を積極的に活用していただき、区の魅力さらには市の魅力を市内外にわかりやすく効果的に伝え、市のイメージアップを図っていきたく考えています。

東区●アクアブルー

東区は、日本海と日本を代表する信濃川や阿賀野川、さらには通船川、栗ノ木川など豊かな水辺に恵まれる一方で、新潟空港や新潟西港など空と海の玄関口でもあるまちです。東区のイメージカラー「アクアブルー」は、躍動感にあふれる東区を表現する色です。

北区●ネイチャーグリーン

見渡す限り広がる田園風景、巨大な葉を広げる福島潟のオニバス、海岸沿いに続く松林やニセアカシア並木、高森の大ケヤキなど、豊かな自然に恵まれた北区を象徴する緑。北区のイメージカラー「ネイチャーグリーン」は、人々の心に潤いとやすらぎを与えてくれる色です。

中央区●ウォーターフロントブルー

北は日本海、中央には信濃川、東に栗ノ木川、西に関屋分水路、南に鳥屋野湯という豊かな水辺に恵まれた中央区。さまざまな都市機能が集積する一方で、国の重要文化財に指定された萬代橋や、みなとまちの伝統文化を感じるまち並みも存在しています。「ウォーターフロントブルー」は、中央区が目指すコンセプト「都心が賑わい、人々が集い交流する水辺のまち」を表現するイメージカラーです。

江南区●スプリンググリーン

江南区は6つの区と境界を接し、都市機能と交通の利便性を活かした交流の拠点と水と緑に囲まれた豊饒な大地とが調和した安らぎのあるまちを形成しています。かつて「地図にない湖」と言われたほどの亀田郷の低湿地を乾田に変え、豊かな実りをもたらした先人から活力を受け継ぎ、明日のまちを作りあげる区民の姿を若くしなやかな稲や木々の新緑「スプリンググリーン」で象徴しました。

秋葉区●フローラルグリーン

秋葉区は「花と緑に囲まれた、快適でにぎわいのあるまち」を区の将来像として設定し、田園や丘陵に囲まれた豊かな自然環境を活かしたまちづくりを進めています。また、秋葉区のシンボルである「秋葉山」や四季折々に風情と色合いを変えていく草木と花々は、区民の心の安らぎを生み出します。「フローラルグリーン」は秋葉区のやさしい緑を表すイメージカラーです。

南区●ブリーズ(そよ風)ブルー

信濃川と中ノ口川、両河川の恵みによって育まれた水辺のまち、南区。肥沃な農地からは米・野菜・果物などが生産され、四季の花々が彩る美しい景観があります。また、初夏の風物詩白根大風合戦など、多くの観光資源に恵まれています。澄み渡る空、自然の大地や川を吹きわたる爽やかな風、天高く舞い上がる風。「ブリーズ(そよ風)ブルー」は南区のイメージカラーです。

西区●サンセットオレンジ

西区は、都市と農村が共生する潤いの居住環境にあり、優れた学術環境と豊かな自然に育まれる人と環境に優しいまちです。特に日本海を望む「夕日ライン」の眺望は美しく、毎年この地で「夕日コンサート」が開催されるなど多くの人々が「夕日」に集い、賑わいます。未来への希望と期待にあふれ、区民の活力を感じさせるこの夕日の色「サンセットオレンジ」を、西区のイメージカラーとしました。

西蒲区●ハーベスト(収穫)イエロー

西蒲区は角田・多宝山や越後七浦海岸などの豊かな自然観光資源に恵まれ、また、新潟市で1位の広さを誇る農地(田んぼ)を有し、「はざ並木」も残る美しい田園風景が広がるまちです。四季折々に風情と色合いを変えていく田んぼは、秋には黄金色の稲穂が鮮やかに実り区全体を包みます。稲穂の輝きは「収穫の喜び」であり「区民の喜び」でもあります。この稲穂の色「ハーベスト(収穫)イエロー」を西蒲区のイメージカラーとしました。

concept